

平成 23 年度地域主導型再生可能エネルギー事業化検討委託業務
(静岡県静岡市) 報告書要旨

ストップ温暖化！清流の都しずおか創造推進協議会連絡会
(NPO 法人アースライフネットワーク・静岡市)

1. 業務の目的

静岡市の自然特性を活かした再生可能エネルギーの評価・分析と、地域主導型のビジネスモデル構築のための研究・検討を実施することにより、再生可能エネルギー事業の事業化計画策定手法を確立させる。

2. 業務の内容

以下の体制を構築し、会議・視察等の具体的な活動を行った。

- ①実施体制：既設協議会の『ストップ温暖化！清流の都しずおか創造推進協議会』の下に、エネルギー供給事業者や事業者関連団体を中心とした『連絡会』及び、事務局にあたる『プロジェクト会議 (PJ 会議)』を設置し、再生可能エネルギーの事業化に関する調査・検討を集中的に実施した。
- ②実施状況：平成 23 年 11 月～平成 24 年 3 月の 5 ヶ月間に、以下の会議・視察等を実施した。第 2 回連絡会は一般市民にもオープンし、地元新聞 2 紙に掲載された。

活動区分	実施内容
会議体	連絡会 3 回 (3/16 予定)、協議会 1 回、PJ 会議 9 回
視 察	市内：5 カ所、先進事例：5 地域 7 団体
研修会	コーディネーター研修 3 回、視察 2 回

3. 事業スキーム及び事業計画の策定

以下の基本的な考え方に基づき、事業スキームと収支計画の検討・策定を実施した。

《基本的な考え方》

- ・事業理念の明快さ：市民の理解と協力が得やすい、明快な理念を有すること
- ・事業の展開性：継続的な展開と規模拡大が期待できること
- ・事業の収益性：補助・寄付金への過度な依存なく運営可能な収益性を有すること
- ・地域との適合性：静岡市の資源と特性を活かした事業モデル（静岡モデル）であること

- ①事業スキーム：3 種のエネルギー（太陽光／小水力／バイオマス）について検討・策定した。

②事業計画：最も実現性の高い太陽光発電に絞って事業計画を立案し、キャッシュフロー分析と課題抽出を行った。

4. まとめと課題

平成 25 年度の事業開始を目指し、来年度は以下の課題に取り組んでいく。

- ①実施主体の体制整備：実施主体たる新会社の構成メンバー選定と役割分担等
- ②運営リスクの管理：資金調達、事業キャッシュフロー、設備メンテナンス等
- ③静岡市との調整：公共施設・敷地の貸借関係、出資・PR 広報支援等
- ④市民参加の具体化：合意形成の手法確立、最適な出資条件の立案等